保護者の皆さまへ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 平成30年　10月

岸和田市立城東小学校

**☆学力テストから分かること☆**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学力向上推進委員会

4月に6年生対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果を分析し、傾向をまとめたものです。

〔よかったところを〇、課題のあるところを●で表しています。〕

国語

○慣用句の意味と使い方が分かる。

○物語を読んで心に残ったとを説明する文の理由を選ぶ。

○冒頭文の効果について、理由を選ぶ。

●記述問題は正答率が低い。※特に条件が複数付いている問題

●文章中で使われている漢字を選択する。

改善に向けての手立て

　「城東っ子の詩」の取り組みを今後も続けていき、児童の言語環境をより充実

させたいと考えています。授業の中で、自分の考えをまとめたり、比較したり

することで、考えを深められるようにしていきます。文章の内容を表面的に

とらえるのではなく、「どのようなことから分かるのか」「なぜそう考えた

のか」など、深く考えられるように工夫します。漢字の定着を図るために、

学習時間を確保し、定期的に復習する機会を設定していきます。

算数

○わり算を用いて、針金の重さを求める。

○全体人数のうち、小学生の人数を割合で表す。（百分率を用いて）

○規則的に並んでいる輪飾り（色紙）の３０個目の色を答える。

●単位量当たりの大きさ（こみぐあい）を調べる。

●与えられた情報を整理して、新たに式を立てたり説明文を選んだりする。

改善に向けての手立て

　 引き続き、授業の始めに基礎的な計算をする時間を設定し、習熟を図ります。

既習の内容を復習しながら、新しい問題を自分で解決する時間を十分に確保

していきます。また、自分の考えを説明したり、ほかの人の考えを聞いたり

する時間を増やしたいと思います。

理科

○動物のひなの様子を観察する適切な方法を選ぶ。

○流されてきた土や石を積もらせる水のはたらきを表す言葉を選ぶ。

●観察したことをどのような視点でまとめているのかを答える。

●目的の時間帯だけ太陽光を当てるために、光電池の位置や向きを考える。

改善に向けての手立て

　 観察や実験など、体験活動の時間を十分に確保していきます。また、気が

ついたことや実験結果を交流したりまとめたりする時間の充実を図ります。

自ら予想を立て、検証したり交流したりする活動を増やしていきます。

児童質問紙

〈学習面〉

○算数や理科の勉強は大切だと思っている児童が多い。

○算数や理科の授業はよく分かると答えている児童が多い。

●自学自習をしている児童が少ない。→１時間より少ない　45.8％

●予習復習をしている児童が少ない。→あまりしていない・まったくしていない　50％

〈生活面〉

○将来の夢や目標を持っている児童が多い。

○読書をよくしている。

●朝食を毎朝食べていると答えた児童が少ない。（全国平均は84.8％）

　　→本校では64.6％

●自分にはよいところがあると思っている児童が少ない。

改善に向けての手立て

　　朝読や黙想（立腰）を引き続き行っていきます。1日を静かな時間から始め、

心を落ち着かせて下校できることが児童の成長に大きく関わっていると考えて

います。

児童が自ら学習する習慣をつけるために、自主学習ノート（JTKノート）の

取り組みの充実を図り、進んで取り組めるように工夫していきます。また、家庭

学習週間（JTKウィーク）は中学校の定期テストの期間と連動して行います。

城東小学校だけでなく、近隣の学校園とともに子どもたちの家庭学習を支援して

いきたいと考えています。ご家庭でも、裏面の家庭学習の手引きをご覧になり、

ご協力いただければありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。